

令和 8 年熊本地震に係る
第 1 回政府非常災害現地対策本部会議
第 8 回災害対策本部会議 議事録

日時：令和 8 年 7 月 3 1 日（金） 1 6 : 0 0 ~

会場：県庁防災センター 2 階 災害対策本部会議室

1 開会

2 議事

（1）地震状況の説明

別紙「気象台資料」により説明（熊本地方気象台）

（2）県からの報告

別紙「各部説明資料」により説明（各部長等）

（3）国からの報告

①総務省

現段階で 26 都県市 169 名が対口支援チームとして決定。順次被災市町村での支援を行う。

②陸上自衛隊

人命救助活動、給水活動、救援物資輸送、人工透析患者の輸送等を継続して実施。本日は 18 時から 22 時まで、熊本市南区城南町で入浴支援を実施。

③国土交通省

現地応急給水本部を立ち上げ給水活動を実施。必要に応じてプッシュ型で給水車を派遣できるよう全国的な支援体制を構築する。防災道の駅うきはに配備している防災用コンテナ型トイレを八代市役所、鏡支所に設置した。4 班 20 名体制で実施している被災調査について、さらに加速するため、明日から 13 班 65 名を新たに追加。

④防衛省

ホテル船の運用について関係機関と調整中。

⑤経済産業省

電力、ガス、ガソリンの供給の早期復旧に向けて対応中。電力について相談の受付を 24 時間に対応する体制と電気工事対応体制を構築中。スポットクーラーの追加発注などプッシュ型の支援物資については職員を派遣し、ニーズを踏まえた対応を実施中。

⑥海上保安庁

八代港、三角港での給水支援を継続中。30 日から三角港停船中の船の浴室を開放して入浴支援を実施中。ヘリによる上空からの調査、病院間搬送等も対応可能。

(4) 関係機関からの報告

①日赤

避難所を中心に活動。重点的に支援が必要なところも支援を開始。過密なところでは今後、健康被害が出てくる可能性もあるので、救護所の設置等も行っていく。

②消防

イオンモール熊本での搜索について、本日大きな進展はなし。病院間搬送も体制を整えて実施した。明日もイオンモールでの搜索等を実施する。

3 災害対策本部長（木村知事）からのコメント

別紙「本部長（知事）コメント」のとおり

4 現地対策本部長（津島副大臣）からのコメント

皆様、本当にお疲れ様でございます。

政府の非常災害現地対策本部の本部長を仰せつかりました津島でございます。

全力を尽くして参りますので、皆様方にはご協力のほど、改めてお願いを申し上げます。よろしくお願いいたします。

木村知事からお話ございました水や物資の輸送というところ、何を輸送するのかに繋がる情報として、支援ニーズの収集というところを国が前面に出て熊本県をサポートして参ります。

そして省庁の壁を取り払って、迅速に被災者のお手元に物資が届く、安心が届くように努めて参ります。

また輸送に関しては、自衛隊のご協力により空、海を活用した立体的な輸送を前提に取り組んで参ります。

さらには入浴船、ホテルシップの運用を早期に進めることで、安心できると同時に清潔な環境というものを、被災者の皆様により早くお届けしたいと考えます。

そして、今後の気象動向、猛暑ということもあります。降雨、土砂災害、そういったリスクも念頭に置きながら、国としても対策を進めて参ります。

何をおいても熊本県と国との連携が要でございます。その連携のひとつ、私が扇の要として、本部長として役目を果たして参りたいと思います。

熊本県におかれては、ちょっとしたことでも遠慮なく私どもに情報をお伝えいただきたいと思います。それぞれ丁寧に真摯に対応して参ります。

県民の皆様に、国としても皆様の支援に全力を尽くして参ります。大変過酷な状況で避難生活を送られていることに心を痛めております。

一日でも早くホッとできる環境を作って参りたい、その一心で取り組んで参ります。

私個人としては、青森県選出、東北の代表として東北の人の思いを背負ってここに来ております。

それは、15 年前、熊本県の皆様から助けてもらったその恩義を忘れない。今こそその恩返しをするのだと、そういう思いでこの場にいます。

県民の皆様には、どうか自分の命を大切にいただきながら、我慢することなく声を上げていただきたい。その場にいる県や国のスタッフにその声を伝えていただきたいと思います。

それが、皆様の安心できる環境が一日でも早くできるスタートになります。

皆様、ともに頑張って参りましょう。これからよろしくお願いいたします。